

テレビ、新聞の報道の殆ど全てが COVID19 ですね。感染症の正体が未だ明らかでなく、先行きも不透明なのでお母様方は不安で混乱していると思います。Youtube を介して WHO のみならず世界中の情報にアクセスし、開業小児科医の目を通しての COVID19 についてレポートします。未だ人類が経験した事のないタイプのパンデミックであり、どこにも明確な対応策はありません。ですから国、地方自治体レベル、そして個人個人が最善の策を練ってこの危機を乗り越えるしかありません。刻々と情勢は変化するので可能な限り内容を更新したいと思いますので参考にしてください。

12 月初旬に中国武漢で最初の COVID19 症例が発生してからまだ 3 ヶ月しか経過していないのに、中国のみならず感染は世界中に広がり、153 カ国で、確認された COVID19 感染者は今日の時点で 157,312 人、死者は 5,840 人に達しています。実際には感染者はその 10 倍いるのではないかとされています。そして 3 月 13 日に WHO はついに Pandemic (世界的大流行) と宣言しています。その後の各国首脳そしてメディアの姿勢は一気に緊張が高まり、国を挙げての対応策を取り始めています。武漢の状況は極めて深刻と私も考えていましたが、イタリアを主に欧米諸国での感染拡大も急激かつ深刻です。武漢での感染者の増加は収まっているのに、イタリア北部の感染者は近いうちに中国を超えるのではないかと思います。イタリアからの報告は少なくとも中国よりは信憑性があり、現時点で確認されている感染者は 21,157 人であり、死者は 1,441 人で、単純計算するとイタリアでの死亡率は 6.8% となります。小児の発生はほとんどなく、小児の COVID19 臨床経過は軽いようですが、70 歳以上の高齢者に限るとその死亡率は 3~4 割となります。さらに問題なのは COVID19 の感染力はかなり強く、高齢者そして基礎疾患のある人を除くと無症状か軽症であり、この人達が感染を拡げていると指摘されています。簡易検査によるサーベイランスが必要で、米国ではどのくらい感染者が拡がっているかを調べようとしており、数日のうちに明らかになるでしょう。この母数が解ると、死亡率も明確となると思われます。何れにしても無症状の感染者と重症化し死に至る人たちのギャップの理由は何故でしょうか？もちろん全ての感染症に同様なことが言えますが---

未だ正体不明 (臨床経過と予後) であり、治療法そして予防するためのワクチンもない現在、COVID19 への私たちの対応策はあるのでしょうか？ワクチン開発は猛烈な勢いで進められていますが、早くても 2 年後に漸くワクチン接種は可能となるでしょう。健康な無症状の感染者がウイルスを弱者 (高齢者あるいは基礎疾患を有する人たち) に感染を拡めること (community transmission) が懸念されています。すなわち全ての人に感染が広まっていると考えて日々を過ごす必要があると言われてしています。人々は earth あるいは planet (惑星) という言葉を使っており、地球上の全ての人たちがほぼ同じ状況だと言えます。予防接種や健診に来院する家族も感染者、もちろん風邪引きの子供達も、そして私たちクリニックスタッフも同様だと思っています。それならクリニックはしばらく閉鎖するしかありません。感染を広げないためにも、もらわないためにも、全ての人が仕事を放棄することになります。学校を閉鎖しても、集会を止めても、通勤電車の中が最も危険であり、お父さん達が COVID19 を家庭に持ち帰ってしまうかもしれません。クリニックは上記の事を判った上で義務を果たすべく慎重に診療を続けるしかないと思っています。

日本では確認されている感染者は 804 人で、死亡は 22 人と非常に少ないですが、今後は急速に感染が広がる可能性があります。感染拡大の対応策をとらないと、人口の 6~7 割が感染する可能性があると言っている専門家もいます。私たちも今後 1 ヶ月の間に大きく状況が変化する可能性を承知して診療したいと思います。

多くの感染症と公衆衛生の専門家の意見を要約してクリニックの対応策を以下に述べます。

1. 日々の生活で予防に努める。飛沫感染であり空気感染ではありません、ですから一番有効なのは頻繁に手洗いし消毒する事です。食事をしっかりと、よく寝て、休息を取り、免疫力を高めましょう。
2. 予防接種、健診などで受診する場合は、一般受診とは受診の時間帯を厳格に分けるようにしています。また待合室は比較的広いのでできるだけ離れて座ってください。
3. 健康な人たち、特に子供達にとって COVID19 は命の脅威となる重症感染ではないと思われますので冷静にパニックになる事なく生活しましょう。今後インフルエンザのように簡易診断キットが普及し、COVID19 の診断が容易となるかもしれません。
4. COVID19 の初期症状は通常の風邪あるいはインフルエンザとあまり違いがないと思われます。現在のところ特別な診断法も治療法もないので体調不良の場合は大人も子供も家で4~5日間くらい安静にしましょう、つまり自己隔離 (self-isolation) してください。
5. いつまで流行が続くのかと世界中の人々が不安を抱えています。夏になればインフルエンザのように流行は終焉すると推測する専門家もいますが、そうではないと言う専門家もいます。でもウイルスの特性として高温多湿となると感染力も増殖力も弱まると期待しましょう。